

【6】赤崎地区「地域福祉“お茶の間トーク”」

“お茶の間トーク”ってなに？

もっと住みやすい赤崎地区のまちにするために、赤崎地区の人々が、2回にわたっていろいろなことを話し合ったのが“お茶の間トーク”です。

参加者の皆さんがグループに分かれて、模造紙や付せん紙を使いながら、誰でも平等・自由に意見を出し合う「ワークショップ」という方法で行われました。

クイズやゲームなどを交えて楽しみながら、大人も子どもも一緒に、まちの中の問題やその解決方法を考えることで、参加者の皆さんの交流にもなりました。

第1回

テーマ：地域のことを見つめ直そう！
～ 地域について考えるきっかけづくり ～

日程：平成18年7月15日（土）

内容：●お茶の間クイズ
●地域マップづくり
●地域の“よかところ”・“気になるところ”探し



まずは赤崎地区にちなんだクイズや、大きな地図の中から学校や施設を探すマップづくりに、グループごとに協力して取り組み、コミュニケーションを深めました。

緊張もほぐれたところで、参加者それぞれが思う赤崎地区の“よかところ”と“気になるところ”を出し合いました。

参加した皆さんにとっては、お互いに同じ悩みを持っていたり、知らなかったことを再発見するいい機会になったようです。

※下のような意見が多く出されました。



【よかところ】

- 景色がよい（九十九島・佐世保湾など）
- みどりが多く、きれいである
- 町内会、老人会等が協力的である

【気になるところ】

- お店が少ないので買い物が不便
- バスの本数が少ない
- 坂道や階段が多いのでごみ出しや買い物が不便

\\ 皆さんも“お茶の間クイズ”に挑戦してみましょう！ //

問1 出光興産が船主の「日章丸」、S S K（佐世保重工）で昭和37年に造られたものは何代目の船でしょうか？（当時、世界最大規模のタンカーということで話題になりました。）

- ① 一代目 ② 二代目 ③ 三代目

問2 赤崎地区の高齢化率はどれくらいでしょうか？（平成18年6月現在）

- ① 約21% ② 約25% ③ 約29%

問3 今から30年以上前の昭和46年、赤崎地区の学校には何人の小学生・中学生がいたでしょうか？

- ① 1,278人 ② 1,661人 ③ 2,538人

※答えはP8の下にあります。



第2回

テーマ：地域みんなにできることを探そう！
～ 小さなことでも地域のために～

日程：平成18年8月5日（土）

内容：●グループ対抗発想ゲーム
●気になり具合診断
●みんなにできることを探そう



第2回も、まずはゲームなどで交流した後、前回出された“気になるところ”の中から、皆さんの関心が高い問題を選びました。

さらに、その“気になるところ”を解決するために、「地域みんなにできることはないのか」が話し合われました。

グループごとにいろいろな世代の方から、自由に、そして熱心に意見が出されていました。

※出された意見の中からいくつかご紹介します。

【問題】

坂道や階段が多く
ごみ出しが大変



【“みんなにできること”の意見】

- 高齢者のごみは近所の方が一声かけて出してあげる
- 危ない所には手すりをつけるようにする

参加した皆さんの感想から

- ◎協力し合ってお互いの心をひとつにして、地域福祉に取り組みたい
- ◎町内でも“お茶の間トーク”を開催して意見交換をすれば、地域で問題になっているものを解決することができるのでは！

“お茶の間トーク”のねらいはこういうところにもあります。

**赤崎地区の皆さん一人ひとりが、地域を良くしたいという
気持ちを持ち、“できること”を考え取り組むことが大切なのです。**



この「お茶の間トーク」での意見を基に、福対協が中心となってまとめた、
次のページの**“みんなの力でできること”**をぜひ実行していきましょう！



みんなで作ろう！ みんなの赤崎！

みんな気になってます…。

みんなの力でこんなことができるよ！

こんな地域を目指そう！！

	みんな気になってます…。	みんなの力でこんなことができるよ！	こんな地域を目指そう！！
ごみ	<ul style="list-style-type: none"> ごみのポイ捨てが多い ごみの分別が徹底できていない ごみの収集場所が汚い 	<p>だから</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆お互いに声をかけて注意し合い、ポイ捨てしないように一人ひとりが心がけましょう。 ☆気づいた人がごみを拾ったり草刈りをして、ごみを捨てにくくしましょう。 ●注意を促す看板を立てましょう。 ☆一人ひとりがルールをきちんと守るよう気をつけましょう。 ●町内で話し合っ、分別方法をきちんと知らせましょう。 ●ごみステーションに交代で立ち合い、収集後は掃除しましょう。 ●収集場所を変えたり、新しいごみステーションの設置を考えましょう。 	<p>そして</p> <p>あなたが変われば みんなが変わる 一人ひとりの心がけ</p>
防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちの急な飛び出しが危ない 公園の遊具が心配・整備されていない 避難場所が遠い ガケ崩れや落石が心配 溝のすき間や道路のヒビ割れが心配 手すりなどが壊れている 暗い所が多く夜道は危ない 空き家が多く雑草も茂っている 	<p>みんなで取り</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆道に飛び出さないように、みんなで交通ルールを守りましょう。 ●子どもたちが安心して通えるように、見守り・パトロールをしましょう。(赤崎っ子守ろう隊) ☆子どもたちの様子を時々見に行ったり、掃除の時などに点検しましょう。 ●「災害時要援護者制度」への登録を呼びかけましょう。 ☆危険な場所を見つけたら、町内の役員や市役所の担当課に連絡しましょう。 ●危険な場所はグループなどを作ってパトロールをしましょう。 ●危険な場所を表示しましょう。 ●私道の手すりは地域の共同作業で手入れをしましょう。 ●地域で暗い場所を点検して、防犯灯をつけましょう。 ☆近所の人で時々、見回りをしましょう。 ●管理者に月に1度は見回わってもらようようお願いします。 ●管理者に木の伐採をお願いします。 ☆飼い主は家族と思ってきちんとしつけましょう。 ●猫を捨てたり、えさをあげないように回覧板などでお願いします。 	<p>そして</p> <p>こだわって見守る 安心 安全 赤崎地区</p>
動物	<ul style="list-style-type: none"> 犬のしつけができてない 捨て猫が多い 	<p>取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●町内全員で話し合い、選び方を決めましょう。(当番制やクジ引きなど) ●若い人にも町内行事に参加してもらい、町内のことを理解してもらいましょう。 ☆一人ひとりができるだけ参加するように心がけましょう。 ●子ども主体の催しを多くしたり、楽しく参加できるように工夫しましょう。 ☆あいさつをすることから始めて、声をかけ合いましょう。 ●シルバーヘルプサービス(老人クラブ)で訪問しましょう。 ●町内の人で時々電話して、集会などに誘いましょう。 ●聞こえにくい場所への伝達方法を考えましょう。 ●御用聞きをお願いします。 ☆お年寄りのごみは近所の人が一声かけて助け合いましょう。 ●手すりを付けましょう。 ●班単位などで話し合って日程を決めて、こまめに草刈り・掃除をしましょう。 ●クリーンタイムを設け、通学路などを中心に町内清掃を行いましょう。 ☆公共交通機関を積極的に利用しましょう。 ●乗り合いタクシーについて検討してみましょう。 	<p>そして</p> <p>ルールを守って 共に生きる 赤崎地区</p>
コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 町内の役員のなり手がいない 催しの参加が少ない ひとり暮らしの高齢者が多い 町内放送が聞き取りにくい 	<p>取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●町内全員で話し合い、選び方を決めましょう。(当番制やクジ引きなど) ●若い人にも町内行事に参加してもらい、町内のことを理解してもらいましょう。 ☆一人ひとりができるだけ参加するように心がけましょう。 ●子ども主体の催しを多くしたり、楽しく参加できるように工夫しましょう。 ☆あいさつをすることから始めて、声をかけ合いましょう。 ●シルバーヘルプサービス(老人クラブ)で訪問しましょう。 ●町内の人で時々電話して、集会などに誘いましょう。 ●聞こえにくい場所への伝達方法を考えましょう。 ●御用聞きをお願いします。 ☆お年寄りのごみは近所の人が一声かけて助け合いましょう。 ●手すりを付けましょう。 ●班単位などで話し合って日程を決めて、こまめに草刈り・掃除をしましょう。 ●クリーンタイムを設け、通学路などを中心に町内清掃を行いましょう。 ☆公共交通機関を積極的に利用しましょう。 ●乗り合いタクシーについて検討してみましょう。 	<p>そして</p> <p>ひとりみんなのために みんなはひとりのために</p>
生活の不便	<ul style="list-style-type: none"> お店が少なく買い物不便 坂道・階段が多くごみ出しが大変 森や林が多く掃除や草刈りが大変 交通の便が悪い 	<p>取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ●御用聞きをお願いします。 ☆お年寄りのごみは近所の人が一声かけて助け合いましょう。 ●手すりを付けましょう。 ●班単位などで話し合って日程を決めて、こまめに草刈り・掃除をしましょう。 ●クリーンタイムを設け、通学路などを中心に町内清掃を行いましょう。 ☆公共交通機関を積極的に利用しましょう。 ●乗り合いタクシーについて検討してみましょう。 	<p>そして</p> <p>思い思われゆずり合い みんなの力で元気アップ 赤崎地区</p>

※『みんなの力でこんなことができるよ！』の欄に書いてある☆印がついたものは、「地域のひとりひとり」に心がけてほしいことです。